水を語る会

会 報 第５０号

令和４年１月 29 日

水 を 語 る 会

会長　眞柄　泰基

現在の会員数　一般会員 141 名　団体会員 7 団体　協力会員 10 名　（令和元年 7 月現在）

講演会の報告（第 39 回会員集会）

日時：令和 3 年 10 月 23 日(土)13 時 30 分～15 時 30 分

場所：日本水道会館会議室及び WEB（Zoom）

講演①:東京都の浄水場の変遷ー淀橋から東村山へー

講師：本 山 智 啓　様

日本ダクタイル鉄管協会名誉顧問

元東京都水道局多摩水道改革推進本部長

講演②：横浜市の浄水場の変遷

講師：清 塚 雅彦　様

水道技術研究センター　常務理事

講演①では、淀橋浄水場がどのように建設されたか、浄水場の移転論、跡地処分などについて、当時の議論や時代背景を交えながら解説いただきました。

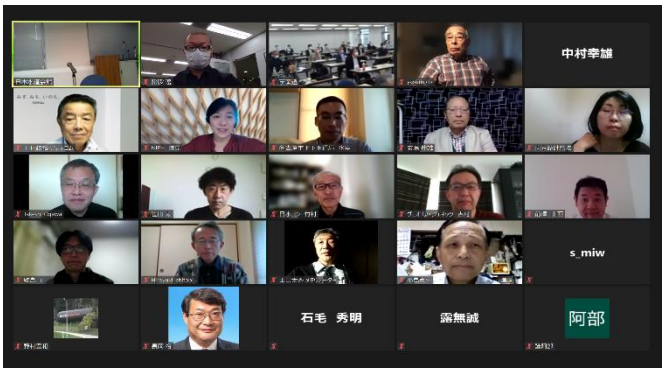
淀橋浄水場の建設の話では、建設中に発生した関東大震災の影響や、当時の水道の予算などについてお話しいただきました。

移転の話では、当時の水道拡張計画や周辺の水道との統合が行われたこと、新宿副都心計画により淀橋浄水場が移転となったことについてお話しいただきました。

跡地処分の話では、多くの関係者の意見を調整することに苦慮したことや淀橋浄水場の跡地の売却費用で、東村山浄水場が建設されたことなどをお話しいただきました。

講演②では、横浜市水道局の浄水場の変遷を貴重な映像を用いながら解説いただきました。西谷浄水場、野毛山浄水場、川井浄水場、小雀浄水場の建設時の苦労を、時代背景を交えて解説いただきました。

小雀浄水場の話では 50 周年記念式典の映像とともに、当時人口が急増し、その対応に苦慮したことをお話しいただきました。



定例幹事会の報告

日時：令和 3 年 10 月 23 日(土)　11 時～12 時

場所：日本水道会館及び WEB

議題：会員集会開催方針、次回講演会について、その他

編集後記

第 39 回は WEB 配信に加えて現地参加可能での開催となりました。会場での開催は前回に引き続き先着 50 名に限定させていただきましたが、今後も状況を見つつ安全な形での講演会を開催していきたいと考えております。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。（幹事　猪股遼）

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

→ http://mizuwokatarukai.org /